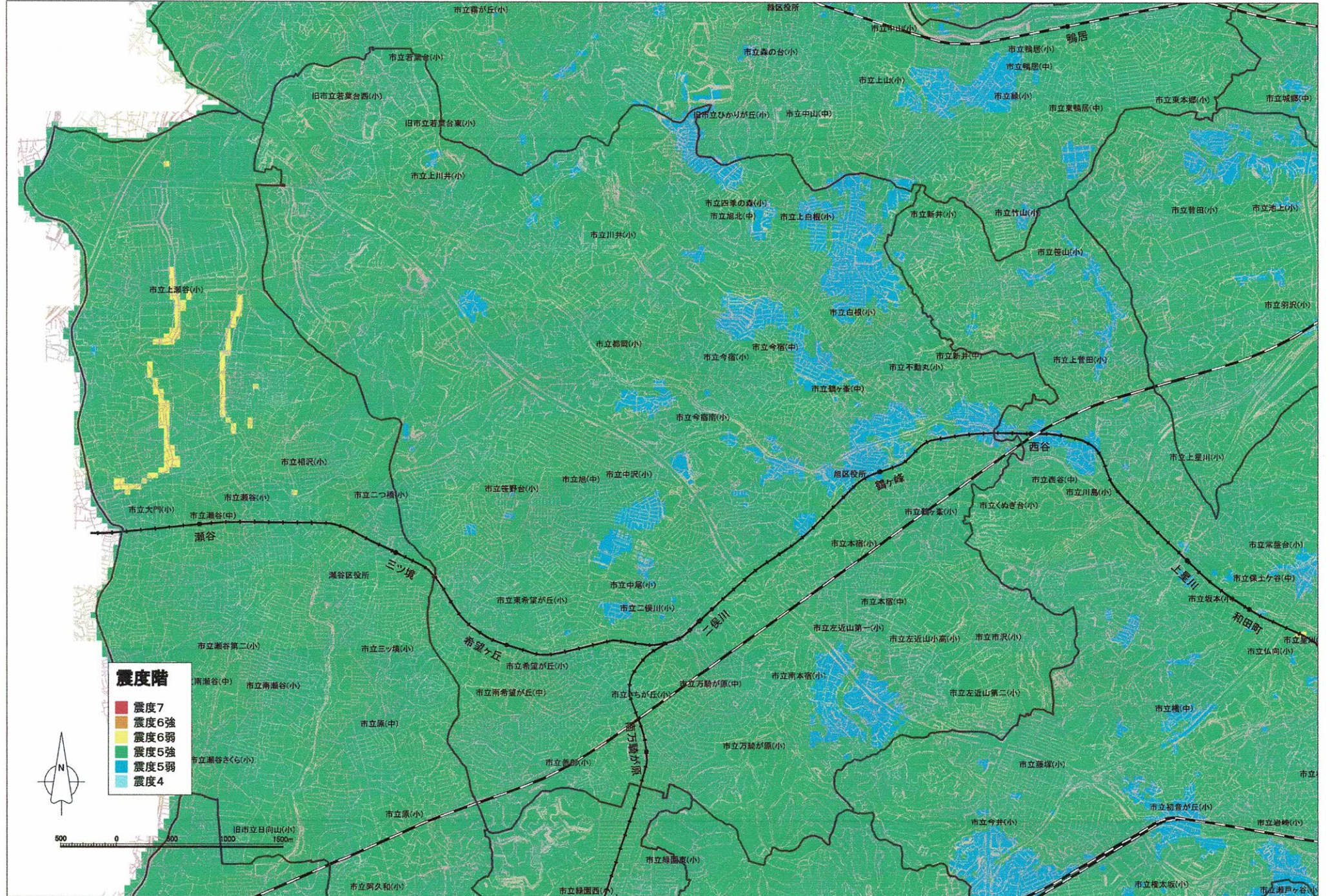


南海トラフ巨大地震被害想定 地震マップ:旭区



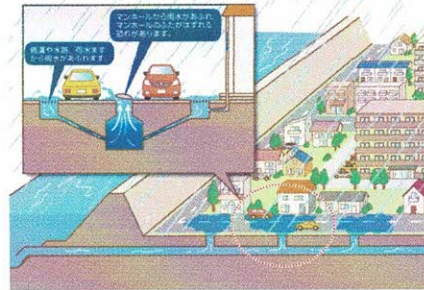
横浜市消防局 平成24年10月作成:横浜市地震被害想定調査に基づいて、市内における50mメッシュごとの震度階評価を行いました。

● 想定条件 ●

1時間で
153mmの降雨
想定最大規模降雨

旭区内水ハザードマップ
内水浸水想定区域(想定最大規模)

この内水ハザードマップは、下水道の能力を超える大雨に対して、浸水が想定される区域の皆さんに日頃の備えや対策をとっていただくために作成したものです。
※河川周辺の浸水想定については、必ず洪水ハザードマップも併せてご覧ください。



※内水浸水の浸水想定区域図は、平成30年度末の河川や下水道施設等の整備状況および地盤の高さを反映して、横浜市環境創造局が作成したものです。
雨の降り方によっては、浸水区域や浸水深がこの区域と異なることがあります。



凡例 (Explanatory Notes)

◎ 浸水深のめやす

	2.0m以上 1時間以上
	1.0~2.0m 1時間以上
	50cm~1.0m 1時間以上
	20~50cm 浸水深
	2~20cm 浸水深
	2cm未満 浸水深

◎ 避難する際に注意する箇所

※本図は、過去の災害事例を参考に、想定した想定最大規模降雨による浸水範囲を示しています。実際の浸水範囲は、実際の降雨状況や地盤状況によって異なります。

	市道		高規格道路
	主要道路		河川
	支線道路		公園
	支線道路		公園
	支線道路		公園
	支線道路		公園
	支線道路		公園
	支線道路		公園
	支線道路		公園
	支線道路		公園
	支線道路		公園

出典データ
 市道 横浜市道路部道路課 市道3線設計第9024号
 河川 横浜川筋整備局河川整備課 1:500(レベル250)により作成
 公園 横浜市環境創造局 市内公園データベース(令和3年4月)

内水浸水想定区域 横浜川筋整備局 旭区内水浸水想定区域(令和3年4月)

1:12,300
 500m 0m 500m 1500m

旭区内水浸水想定区域(想定最大規模)はどうやって決めたの？

この内水浸水想定区域は、想定最大規模の降雨によって、下水道や水防、遊歩道などから水があふれる範囲や深さをシミュレーションしたものです。想定最大規模降雨とは、各地方において過去に観測された最大の降雨量を基本に設定することによって横浜市では、1999年に関東地方で観測された瞬間降雨量153mmとしています。

なお、この内水浸水想定区域は河川の堤防を越えて水があふれることも考慮してシミュレーションしていますが、堤防の決壊は想定していないため、洪水浸水想定区域と浸水深や浸水範囲が異なる場合があります。
必ず洪水ハザードマップも併せてご覧ください。

出典データ	旭区 旭区建設課 旭区建設課 旭区建設課 旭区建設課
作成日	旭区建設課 旭区建設課 旭区建設課 旭区建設課
更新日	旭区建設課 旭区建設課 旭区建設課 旭区建設課
更新内容	旭区建設課 旭区建設課 旭区建設課 旭区建設課
更新時期	旭区建設課 旭区建設課 旭区建設課 旭区建設課
更新回数	旭区建設課 旭区建設課 旭区建設課 旭区建設課

●想定条件●
 帷子川水系：24時間で390mmの降雨

旭区洪水ハザードマップ

洪水浸水想定区域(想定最大規模※)

帷子川水系河川：帷子川、矢指川、中堀川、新井川、くぬぎ台川

この洪水ハザードマップは、帷子川水系等の河川の氾濫が予想される場合や実際に氾濫した場合に、浸水が想定される区域の皆さんに速やかに避難していただくために作成したものです。

※想定最大規模とは「想定し得る最大規模の降雨」による氾濫を前提として予測したものです。



凡例 (Explanatory Notes)

○浸水深の目安

10.0~20.0m未満	1階以上の浸水
3.0~5.0m未満	2階部分まで浸水する
0.5~3.0m未満	1階天井まで浸水する
0.0~0.5m未満	おとの壁まで浸水する

○避難する際に注意する箇所

浸水想定区域	浸水想定区域のうち、道路や河川等により浸水が深刻化する恐れがある区域。屋内での避難は必ず、避難経路を確認し、避難先まで避難してください。
バス	大雨に浸水が想定される区域に、バスが停車している場合は、バスを降り、浸水が想定される区域から避難してください。
土砂災害警戒区域	大雨に浸水が想定される区域に、土砂災害が発生する恐れがある区域に注意してください。
土砂災害特別警戒区域	大雨に浸水が想定される区域に、土砂災害が発生する恐れがある区域に注意してください。

○避難する際の注意

避難経路	避難経路
避難所	避難所
避難所	避難所
避難所	避難所
避難所	避難所

洪水浸水想定区域(想定最大規模)はどうやって決めたの？

こちらの洪水浸水想定区域^{※1}の範囲やその浸水深は、想定し得る最大規模の降雨(24時間で390mm)を前提として、川の水があふれた場合や堤防が壊れた場合をシミュレーションにより予測したものです。

【参考】 旭区地方気象台は、平成26年10月5日に24時間で約307mmの降雨を観測しています。^{※2}

なお、この洪水浸水想定区域は、前提となる降雨を超えるような大雨、下水道等からの浸水、水路の氾濫等を考慮していませんので、着色されていない区域でも浸水が発生する場合があります。また、図面の表記上、主要道路等の浸水深は着色されておりませんが、詳しい浸水深は、神奈川県のホームページでご確認ください。

※1 神奈川県ホームページ
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/f44/cnt/r13747/p1039490.html>

※2 国土院防災情報ホームページ
<https://www.jma-net.go.jp/yokohama/>

風水害時における避難場所について

災害時には、指定避難場所以外に、地区センター、地域ケアプラザ等の公共施設、自治会町内会館を避難場所として開設する場合があります。避難する際は、必ず、市・区のホームページやテレビ(データ放送)等で開設されている避難場所をご確認ください。

2か所以上の避難場所へ避難できるよう、自分自身であらかじめ複数の避難経路を確認しておきましょう。

すでに浸水が始まっている場合などには無理に避難場所へ移動せず、浸水していない近くの高いところに避難してください。

なお、旭区では浸水時の避難場所として、下記に示した指定緊急避難場所を優先して開設します。

開設する条件	No.	避難場所	所在地	位置
洪水等で被害が予想される場合	1	白根小学校	中白根1-9-1	G-3
	2	上川井小学校	上川井町2913	O-2
	3	笹野台小学校	笹野台4-48-1	O-4
	4	南本宿小学校	南本宿町79	F-6